



堤防すべりを楽しむ日新幼保園の児童たち

～川に親しむ～

杭瀬川の堤防敷で親子堤防すべり

空気の冷たさが次第に増し、秋の終わりを肌で感じ始める11月5日、杭瀬川の河川敷に堤防滑りを楽しむ大垣市立日新幼保園の園児74人の歓声がかどましました。

先生たちが見守る中、園児たちは手製のそりを使って親子で杭瀬川河川敷の堤防の斜面を滑り、何度も堤防を上り下りして楽しみました。子供たちは「楽しかった!」「またやりたい」と普段とは違う場所での活動に満足した様子でした。

～出張所からのコメント～

◇堤防の法面勾配について◇

子どもたちが滑った堤防の法面勾配は2割勾配と呼ばれており、高さ：水平距離＝1：2の割合となっています。角度に直すと約26度であり、スキーのグレンデでは中級者コース相当の斜度です。今年の冬、グレンデデビューしたくなる子がいるかも？

～堤防イメージ図～

